

イスパニア語学専攻

Spanish Studies



本専攻では、イスパニア語の語学、言語学、およびイスパニア語圏の文学、文化をより深く専門的に学ぶことができます。イスパニア語の習得、イスパニア語教育の専門家を育成するプログラムも用意されています。

Students in our program are trained to perform any professional task related to Spanish language, linguistics, and the literatures and cultures of Spanish-speaking countries.

We also have a graduate program to create specialists of the acquisition and teaching of Spanish language.

授業担当専任 スタッフ Academic Staff Profiles

Montserrat SANZ (モンセラット・サンス)

●教授/Professor

言語学理論、生成文法

(Syntax/Semantics interface, lexicon)

心理言語学(L2 acquisition processes, Sentence Processing, lexicon storage).

川口 正通 (かわぐち まさみち) Masamichi KAWAGUCHI

●准教授/Associate Professor

現代イスパニア語の統語論、意味論を専門とし、主に条件文や譲歩文をはじめとした複文の用法について研究をおこなっている。

Modern Spanish syntax and semantics.

Juan ROMERO DÍAZ (ファン・ロメロ・ディアス)

●准教授/Associate Professor

専門は第2言語としてのスペイン語習得で、主に統語論と意味論の関係性について研究している。

Spanish L2 acquisition, Syntax/Semantics interface



成田 瑞穂(なりた みずほ) Mizuho NARITA
●教授/Professor

カルロス・フエンテスを中心とする20世紀以降のラテンアメリカ文学研究。
Latin American literature



野村 竜仁(のむら りゅうじん) Ryujin NOMURA
●教授/Professor

16世紀スペインにおける思想運動と黄金世紀のスペイン文学との関連について研究を行っている。
Spanish Renaissance literature



ナバラ大学とのダブル・マスタープログラム Double Master's Degree Program with Navarra University



2018年11月、本学大学院は、スペインのUniversidad de Navarraスペイン言語文化研究所(ILCE)との間でダブル・マスタープログラムに関する協定を締結しました。このプログラムでは、本学大学院の修士課程イスパニア語学専攻に入学後、1年生の後期よりスペイン、ナバラ大学大学院へ留学し、1年間スペイン語教育法を学びます。帰国後、本学での学修と併せて2年間の課程修了時に本学大学院とナバラ大学大学院の2つの修士の学位を同時に取得できるという日本初のプログラムです。

最近の修士論文等のテーマ Recent Master's Thesis Subjects

- ・ Los rasgos del artículo definido en español. Una propuesta didáctica para la enseñanza de los determinantes a hablantes nativos de japonés.
- ・ El futuro con <estar+gerundio> en el español de Perú y su relación con los verbos de movimiento.
- ・ Situación actual y perspectivas futuras para la enseñanza de la lengua española en los institutos de bachillerato de Japón
- ・ Estudio sintáctico-semántico de las expresiones miméticas en las construcciones verbales del japonés y sus correspondencias en español

院生紹介 Message from a Student

-なぜ修士課程に進学しようと思いましたか？

勉強が好きだから、これに尽きます。知的好奇心の探究こそ人生の喜び！

-なぜ神戸市外国語大学の大学院を選んだのですか？

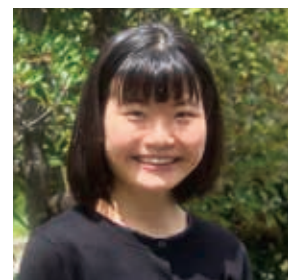
学部の4年間で、外大の素晴らしさを十分に知り得ていたからです。今改めてその良さについて考えてみると、規模の小ささが挙げられると思います。研究という個人戦を、落ち着いた環境でできるのはメリットです。また各専攻がコンパクトであるが故に、他専攻との距離が近いのも良い点です。なぜなら、あらゆることは繋がっていますし、知に無駄はないので結果的に自分の研究への刺激になるからです。

-どのような学生生活を送っていますか。

ひたすら知識を吸収する毎日です。とは言え、知らないが増える一方なので、無知の知をひしひしと感じる毎日と言うべきかもしれません。

-修士課程進学を考えている方にメッセージをお願いします。

「やらずに後悔より、やって後悔」とよく言われます。前者は起こり得ても、私は後者には懐疑的です。なぜなら何かにトライすると必ず学びを得るからです。私は学部卒業後3年を経てから大学院に入りました。結果的に、脳細胞が小躍りしているのを感じる楽しい日々を送っています。そんな知る喜びを共に味わいませんか？



立石 有紗(2年)
Arisa TATEISHI